

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	弘前医療福祉大学短期大学部
設置者名	弘前城東学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配 置 困 難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	介護福祉学科	夜・通信	7	64	71	7	-	
	救急救命学科	夜・通信		60	67	10	-	

(備考)

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/2020_List_of_class_subjects_by_teachers_with_the_work_experience_junior_college.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	弘前医療福祉大学短期大学部
設置者名	学校法人弘前城東学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://university.hirosakiuhw.jp/disclosure/pdf/r02/2_Donation_Officer-list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医療法人理事長	2020.4.15 ～2024.4.14	コンプライアンス
非常勤	株式会社役員	2020.2.2 ～2024.2.1	社会連携
非常勤	株式会社従業員	2020.4.15 ～2024.4.14	国際・情報
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	弘前医療福祉大学短期大学部
設置者名	弘前城東学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

- 1．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

授業計画書を作成するために、「授業概要（シラバス）作成の要領」を作成している。その内容は、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」とシラバスの役割についての説明、実務経験のある教員、授業の目的、授業の到達目標、関連する役目、準備学修、使用テキスト、参考文献、成績評価の方法および基準、課題に対するフィードバック等の記載方法となっている。また、講義、演習および実習に分けたシラバスの記載例を掲載している。

授業科目担当者は、「授業概要（シラバス）作成の要領」を参考に授業計画書を作成し、適正に記載してあるかどうか、教務委員会を中心に学科長も含め確認作業を行い、記載内容の改善等を担当教員へ指示している。

授業計画書の作成は、12月から2月にかけて、公表は4月にシラバスの他、ホームページに掲載している。

授業計画書の公表方法	授業概要（シラバス）作成の要領 https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/2020_huhwjc_syllabus_how_to_make.pdf 介護福祉学科シラバス https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/20HUHWJC_Syllabus_cw.pdf 救急救命学科シラバス https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/20HUHWJC_Syllabus_emt.pdf
	2．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

シラバスに「授業の目的」及び「授業の到達目標」を記載し、「成績評価の方法および基準」の項目を設け、その内容に従い評価し、単位を与えている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAは、履修登録した授業科目の単位数に当該科目の5段階評価(4.0~0.0までの点数:GP)を掛け、その総和を総履修単位数の合計で割った平均点とします。なお、計算値は小数点第2位までとし、小数点第3位以下を切り捨てるものとします。
不合格(GP=0.0)の判定を得た場合もGPAの対象に含むものとします。

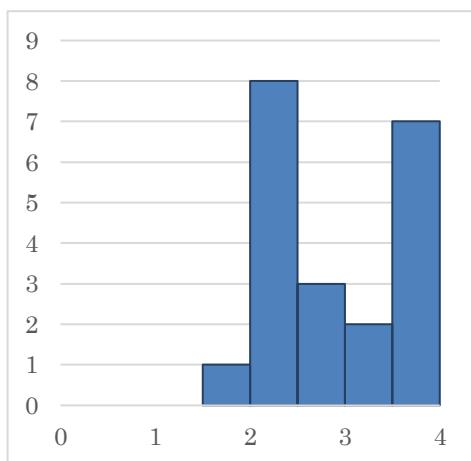
GPAの指標や計算方法に関する取り決めについてはホームページで公表している。また、GPAは本学独自のホスピタリティー奨学金制度の選考基準のひとつにもなっている。GPA等が学科における下位4分の1の範囲に属する場合、担任等の面談を実施することとしている。

GPAの記述統計

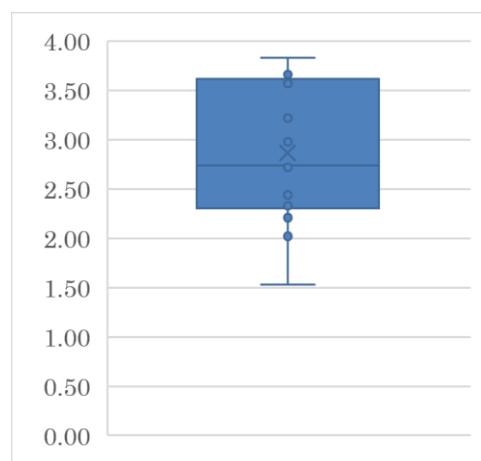
【分析対象】2019年度 介護福祉学科 1学年 【学生数】21名

【結果】中央値 2.74 (第1四分位 2.33、最大値 3.83、最小値 1.53)

ヒストグラム



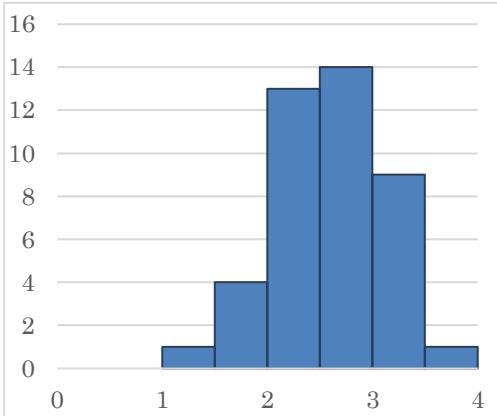
箱ひげ図



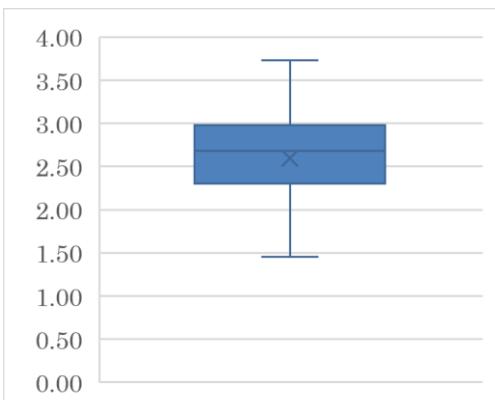
下位4分の1: GPA 2.33以下 (6名)

【分析対象】2019年度 救急救命学科 1学年 【学生数】42名
【結果】中央値2.68(第1四分位2.33、最大値3.73、最小値1.45)

ヒストグラム



箱ひげ図



下位4分の1：以下 2.33以下 (12人)

客観的な指標の
算出方法の公表方法

単位の認定およびGPAについて
https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/19HUHWJC_prospectus.pdf#page=48

https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/2020_HUHWJC_GPA.pdf
卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/policy/tandai_dp_201901.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学は、ホスピタリティー精神に基づき専門的知識と技術を学び、幅広く深い教養と総合的な判断力をもって広く国民生活の向上と社会発展に寄与できる人間性豊かな人材育成を目的としています。この目標を達成するために、各学科の教育研究上の目的を基に教育課程を編成しており学則に定めた単位を修得した学生には、卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。さらに、学生は各学科の教育目的に沿った能力を身につけ、所定の単位を修得することにより、それぞれの学科で位置づけられている資格を取得することができます。

学科ごとに「卒業認定・学位授与の方針」を策定し、公表している。

《介護福祉学科》

介護福祉学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「短期大学士（介護福祉）」の学位を授与する。

- 1 ホスピタリティー精神を身につけ、幅広い教養と知識を活用する能力を備えている。
- 2 人権の擁護・尊厳の保持・自立支援を支える視点と倫理観を備えている。
- 3 介護福祉に関する専門的知識と技術を身につけ、総合的な判断力を有し地域社会に貢献できる。
- 4 多様な価値観を理解するとともに、常に高齢者や障がい者等の立場で考え方行動する能力を身につけている
- 5 現代社会に対応できる主体性を持った個人として、生涯を通じて学び続ける基礎能力を身につけている。

《救急救命学科》

救急救命学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「短期大学士（救急救命学）」の学位を授与する。

- 1 ホスピタリティー精神を身につけ、幅広い教養と知識を活用する能力を備えている。
- 2 多職種と連携したチーム医療を実践できる協調性とリーダーシップを身につけている。
- 3 救急救命士としての専門的知識と技術を習得し、地域社会に貢献できる。
- 4 救急現場において、迅速・的確に対応できる総合的な判断力及び体力を身につけている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/policy/tandai_dp_201901.pdf

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	弘前医療福祉大学短期大学部
設置者名	弘前城東学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://university.hirosakiuhw.jp/disclosure/pdf/r01/fcr01-06.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://university.hirosakiuhw.jp/disclosure/pdf/r01/fcr01-04.pdf
財産目録	https://university.hirosakiuhw.jp/disclosure/pdf/r01/fcr01-07.pdf
事業報告書	https://university.hirosakiuhw.jp/disclosure/pdf/r01/fcr01-08.pdf
監事による監査報告(書)	https://university.hirosakiuhw.jp/disclosure/pdf/r01/fcr01-09.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称 :	対象年度 :)
公表方法 :	
中長期計画(名称 :	対象年度 :)
公表方法 :	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 : https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/jikotenken/jikotenken2019_huhwjc

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法 : http://www.jaca.or.jp/assets/files/2-1_jigyo/6_kekka/h27/7_h27_hirosakiiryofukushi.pdf

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 介護福祉学科 及び 救急救命学科
教育研究上の目的 (公表方法 : https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/19HUHWJC_prospectus.pdf#page=7)
(概要)
<p>《介護福祉学科》</p> <p>1 社会や人間の尊厳を理解し、人に共感できる豊かな人間性を育み、ホスピタリティ精神を兼ね備えた人材を育成する。</p> <p>2 介護・福祉のニーズを正しく理解し、総合的な判断力をもって科学的に問題解決できる人材を育成する。</p> <p>3 介護・福祉に関する専門的知識と技術を現場で有効に活かせる人材を育成する。</p> <p>4 地域に開かれた大学として、介護・福祉に関する教育研究の成果を地域に還元し、健康と福祉の向上に寄与する。</p>
<p>《救急救命学科》</p> <p>1 人間の尊厳を基盤とし、社会人基礎力を身につけた人材を育成する。</p> <p>2 救命・救助にかかる正しい知識と技術を身につけた人材を育成する。</p> <p>3 救命・救助について主体的に学び、関連職種と連携・活動できる人材を育成する。</p> <p>4 プレホスピタルケアの先端で活動できる救急救命士としての救急医療技術のみならず、人命捜査、要救助者の搬出・救助、観察・保護・医療処置など、多種類の救急救命シミュレーションを通じて実践力を養う。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/policy/tandai_dp_201901.pdf)
(概要)
<p>《介護福祉学科》</p> <p>介護福祉学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「短期大学士（介護福祉）」の学位を授与する。</p> <p>1 ホスピタリティ精神を身につけ、幅広い教養と知識を活用する能力を備えている。</p> <p>2 人権の擁護・尊厳の保持・自立支援を支える視点と倫理観を備えている。</p> <p>3 介護福祉に関する専門的知識と技術を身につけ、総合的な判断力を有し地域社会に貢献できる。</p> <p>4 多様な価値観を理解するとともに、常に高齢者や障がい者等の立場で考え方行動する能力を身につけている</p> <p>5 現代社会に対応できる主体性を持った個人として、生涯を通じて学び続ける基礎能力を身につけている。</p>
<p>《救急救命学科》</p> <p>救急救命学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「短期大学士（救急救命学）」の学位を授与する。</p> <p>1 ホスピタリティ精神を身につけ、幅広い教養と知識を活用する能力を備えている。</p>

- 2 多職種と連携したチーム医療を実践できる協調性とリーダーシップを身につけている。
- 3 救急救命士としての専門的知識と技術を習得し、地域社会に貢献できる。
- 4 救急現場において、迅速・的確に対応できる総合的な判断力及び体力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/policy/tandai_cp_20200318.pdf）

（概要）

《介護福祉学科》

介護福祉学科では、介護福祉士等の専門職を育成するため、幅広い教養と介護の専門的な知識・技術・高い倫理観の習得を目指しています。

- 1 ホスピタリティ精神を基盤に、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するために、「人間の理解」、「社会の理解」、「豊かな生活」、「外国語」を柱とした基礎科目群を、1年次を中心に配置する。
- 2 介護実践にあたり必要な尊厳の保持・自立支援等、介護福祉専門職としての専門的知識と高度な技術を習得するために、「介護の基本」、「コミュニケーション技術」、「介護過程」、「生活支援技術」、「介護総合演習」、「介護実習」に関する専門科目群「介護」を配置する。また、これら科目の学習成果を評価するため2年次後期に介護事例研究発表会を実施する。
- 3 高齢者・障がい者等、利用者の心身に関する深い理解及びチームアプローチ等を学ぶために、人体に関する基本的知識を踏まえ、「発達と老化の理解」、「認知症の理解」、「障害の理解」等を柱とした専門科目群「こころとからだのしくみ」を配置する。また、介護現場における介護福祉士による喀痰吸引・経管栄養等の「医療的ケア」を配置する。
- 4 「介護福祉士国家資格」取得を目指し、既習の内容を繰り返し学習することにより理解度を高めることができるよう配慮する。また国家試験対策として過去問題の解説及び模擬試験を実施する。
- 5 介護実践の幅を広げる種々の科目を配置し「社会福祉主任用資格」の取得を可能とする。そのほか、関連領域の資格として「介護食士3級」、「普通救命講習I」を取得できる講座を開講する。また「AHA-BLSヘルスケアプロバイダー（アメリカ心臓協会医療従事者向け一次救命処置）」の資格取得を支援するための講習を行う。

《救急救命学科》

救急救命学科では、救急救命学に関する知識を実際に生かせるような創造力・統合力・問題解決力の習得を目指しています。

- 1 ホスピタリティ精神を基盤に、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性とともに社会福祉・社会保障に関する基本的な知識を育むために、「人間の理解」、「社会の理解」、「豊かな生活」、「外国語」を柱とした基礎科目群を1年次及び2年次に開設する。
- 2 医療従事者として求められる専門的医学知識を身につけるために、「医学概論」、「解剖学」、「生理学」、「法医学」等の専門基礎科目群を1年次及び2年次に開設する。
- 3 救急救命士に必要な高度な知識と技術を習得するために、「救急医学概論」、「救急症候・病態生理学」、「疾病救急医学」、「外傷学」等の専門科目群、専門基礎科目群と並行して開設する。

- 4 高い実践力を養うために、「救急救命シミュレーション」を1年次から3年次にかけて開設する。また、学内での講義・演習で得た知識・技術を体験して修得させるため「臨床実習」、「救急用自動車同乗実習」を3年次に開設する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：
https://college.hirosakiuhw.jp/pdf/policy/tandai_ap_201901.pdf）

（概要）

《介護福祉学科》

1 求める学生像

本学科は、「介護」のスペシャリストを目指して積極的に学習する姿勢を持つ学生を求めます。また、「福祉」に関する専門的な知識と技術を身につけようすることに关心を持ち、豊かな人間性を身につけて、社会に貢献しようとする意欲のある学生を求めます。

2 入学までに身につけておいてほしいこと

- (1) 理論的な思考にかかる思考力
- (2) 人とのかかわりの基礎となる自己表現力とコミュニケーション能力
- (3) 「介護福祉」分野の事柄について自主学習に取り組む姿勢
- (4) 心身の健康に关心を持ち、生命の尊厳を大切にできる姿勢

《救急救命学科》

1 求める学生像

本学科は、「救急救命」のスペシャリストを目指し、人命救助に必要な知識と技術を積極的に学修する学生、及び幅広い教養と医療技術者・公安職としての専門的な知識技能を身につけ、人間性豊かで地域社会に貢献しようとする意欲ある学生を求めます。

2 入学までに身につけておいてほしいこと

- (1) 文章力、論理的な思考にかかる国語力
- (2) 人とのかかわりの基礎となる自己表現とコミュニケーション能力
- (3) 思考力にかかる数学の基礎学力
- (4) 生体の構造や機能といった医学を理解するために必要な生物の基礎学力

②教育研究上の基本組織に関するこ

公表方法：https://www.hirosakiuhw.jp/disclosure/disclosure_tandai/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	1人	—	—	—	—	—	1人
介護福祉学科	—	3人	4人	2人	0人	0人	9人
救急救命学科	—	5人	1人	4人	0人	2人	12人

b. 教員数（兼務者）		学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
		—	0人	48人

各教員の有する学位及び 業績 (教員データベース等)	公表方法： https://university.hirosakiuhw.jp/kyoinsyokai/index_ks.html#tandai
----------------------------------	--

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
介護福祉学科	40人	14人	35.0%	90人	35人	38.8%	0人	0人
救急救命学科	35人	40人	114.2%	105人	117人	111.4%	0人	0人
合計	75人	54人	72.0%	195人	152人	77.9%	0人	0人

(備考)

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
介護福祉学科	16人 (34%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)
救急救命学科	31人 (66%)	0人 (0%)	23人 (74%)	8人 (26%)
合計	47人 (100%)	0人 (0%)	39人 (83%)	8人 (%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

就職先：

青森県警察、青森地域広域事務組合、下北地域広域行政事務組合消防本部、八戸地域市町村圏事務組合消防本部、弘前医療福祉大学短期大学部、弘前地区消防事務組合、北部上北広域事務組合消防本部、三沢市消防本部、能代山本広域市町村圏組合消防本部、にかほ市消防本部、由利本荘市消防本部、奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部、久慈広域連合消防本

部、成仁ハウス百年の里、苑田第一病院、埼玉東部消防組合消防局、自衛官候補生、自衛隊一般曹候補生、介護老人保健施設ヴィラ弘前、グループホームあけぼの、(株)ツクイ弘前大町、ヘルパーステーション北斗弘前、介護老人保健施設幸陽荘、介護老人保健施設ハートランド、(株)善世会、特別養護老人ホーム三和園、特別養護老人ホーム慶游荘、有料老人ホーム はあとふるしちのへ、特別養護老人ホームおおみなと園、特別養護老人ホーム水交苑、医療法人みなみつくば会
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関するこ

(概要)

作成要領に沿ってシラバスを作成し、全授業科目において、各回の授業内容と授業の方法（講義、演習、実習等）について記載している。また、作成したシラバスは教務委員と学科長で内容の確認を行い、必要に応じて適宜修正している。シラバスは全学生に配布し、ホームページでも公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関するこ

(概要)

定められた授業科目を履修し、シラバスに記載のある「授業の目的」、「授業の到達目標」、「成績評価の方法および基準」に従った試験等によって評価し、単位認定をしている。卒業認定については卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を身につけ、かつ卒業所要単位を修得した者に教授会の議を経て学長が卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	介護福祉学科	87 単位	(有)・無	52 単位
	救急救命学科	94 単位	(有)・無	52 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.hirosakiuhw.jp/outline/campusmap/>
<https://university.hirosakiuhw.jp/library/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	介護福祉 学科	585,000 円	220,000 円	1 年次 370,000 円 2 年次 450,000 円	教育充実費 1~2 年次 300,000 円 実験実習費 1 年次 50,000 円 2 年次 100,000 円 厚生費 1 年次 20,000 円 2 年次 50,000 円
	救急救命 学科	800,000 円	220,000 円	1・2 年次 420,000 円 3 年次 520,000 円	教育充実費 1~3 年次 300,000 円 実験実習費 1・2 年次 100,000 円 3 年次 200,000 円 厚生費 1~3 年次 20,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

学修支援体制として、教務部と学生部による支援体制とともに助言教員制を設けており、教員全員が学生を担当している。また、各学科ではクラス担任制を設けている。助言教員は、少人数の学生を受け持ち、時間を設定または設定以外の場合も学生の要望に応じて面談を実施し、学生の就業状況を把握することや学修あるいは生活上の問題や将来の希望など様々な疑問に対し、指導・助言等を行っている。担任は、クラス全体に周知する事項等の連絡、出欠の管理と欠席学生の指導、履修状況などを把握することで、学生の個々人に対応した指導を行っている。教員は、学生の修学に関する事案があると判断した場合、各学科で情報共有の会議を設け学生支援を実施している。

介護福祉学科・救急救命学科は、1 年次から各種試験に向けての取組や入学時にグッドスタートができるよう入学者前教育を行っている。介護福祉学科では、国家試験対策として基本的な生活マナー、自主的学習姿勢、文章作成・発表能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、また、2 年間という短期間ではあるが課題に気づき取り組んでいく姿勢等、必要とされる基礎的能力を養っている。

救急救命学科では、推薦入試合格者を対象として、入学前教育を実施している。生物、化学、数学等の理数科目を受講し、入学後、スムーズに医学系科目を受講できるように準備している。また、救急救命学科の学生は将来消防吏員を希望する者が多くいることから、1 年次から 3 年次にかけて公務員試験対策、及び国家試験対策を実施し卒業年度に希望している就職先の内定や救急救命士国家資格取得に向けた充実した対策を行っている。

また、教務部及び各学科では新入生全員に対して入学時にガイダンスを行い、短期大学での学修について学生便覧で説明している。入学式当日には、保護者に各学科で教員紹介、学修内容を簡潔に説明し短期大学生活の学習支援について理解していただくよう努めている。また、前期・後期開始時にも各学年の学修に関するオリエンテーション

ン・ガイダンスを実施し、必要な情報は定期的に確認できるように取り組んでいる。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

本学においては、学生のキャリア教育及び就職関連の総合的な支援や学生の社会的自立を促すことを目的に進路委員会を設置している。進路委員会は、委員長と副委員長に介護福祉学科、救急救命学科の専任教員をそれぞれ充てて組織している。委員会の庶務は、学生部就職支援室において処理している。本学の特徴である助言教員制度を活用して進路支援を行っている。

進路委員会では、年間の進路指導計画を立案し、学生を全面的にサポートし、様々な取り組みを行っている。平成 23 年度からは新たに就職支援室を設置し、学生課職員を中心となって管理を行い、求人票やパンフレット等を自由に見ることができるスペースを確保し、落ち着いた空間で、施設、事業所、企業等からの求人内容を閲覧できるようになっている。企業等の検索ができるパソコンや、必要な情報をすぐに印刷できるようコピー機を設置し、将来を見据えた学生が自分の進路を考える場として活用している。就職支援室の開館時間は、平日は午前 9 時～午後 5 時と土曜日は午前 9 時～午後 12 時としている。

学生の就職希望先や内定の有無については、学生部就職支援室で把握し、就職状況一覧表を作成している。平成 26 年度から、卒業生の状況を把握し、より有為な学生を社会に送り出すことを目的として「就職先アンケート」を実施している。その結果を進路委員会で分析し、卒業時の就職状況とともに教授会に提示し、教職員全員が学生一人一人の就職状況を分析・検討し、多様な意見交換や情報交換を行っている。

就職した各施設と卒業した学生へのアンケート調査を毎年実施している。各々の結果は、各学科と学生部で共有し参考にしている。また、進路指導を行う際に必要と思われる内容については、全教員にも周知を図るとともに課題等がある場合、進路委員を介して検討を重ねている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

保健管理室、学生相談室を設置し支援している。保健管理室は、室長（歯科医師）、副室長（看護師・カウンセラー）、室員（看護師 3 人・養護教諭 1 人）が担当している（養護教諭以外は兼任）。その他学校医を置いている（兼任）。保健管理室は午前 10 時～午後 5 時の間開室し、養護教諭が常駐して、学生の対応に当たっている。主な業務は、年度初めの健康診断、学生の健康相談・管理、けが・体調不良時の応急処置、保健指導、学校感染症の予防、実習前の感染症防止対策に向けた予防接種の啓発・管理、各種証明書の発行等である。肥満や高血圧、Ⅱ型糖尿病の学生もおり、継続的な生活習慣の指導が求められ、保健管理室においても、継続した保健指導に力を入れている。また、自己管理と言う視点から血圧計・体重計を設置し、定期的な測定を勧めている。

また、年度初めに実施される定期健康診断の際には、健康診断項目以外に血圧測定も行い、その他にも、既往歴や通院状況・学習や対人関係の困難さを把握するために、保健調査を実施している。特に 1 年次の学生には健康診断の事後指導の際、丁寧な聞き取りも行い、身体的にも精神的にもハイリスクと思われる学生や、継続した支援を希望する学生の情報は、本人の許可を得て、各学科と共有している。

本学では、実習に支障が生じないように、学校医の指導に基づき、入学予定者及び実習を控えた学生に対して、各種感染症に対する抗体価検査及び予防接種の義務づけ(又は推奨)を行っている。

学生相談室では、カウンセラー資格を有した教員が、相談業務を担当している。カウン

セラーが兼任であるため、相談は、基本的には予約制をとっている。相談室の利用者は、学生・保護者・担当教員で、相談室での対面相談に留まらず、電話又はメール等による相談も行っている。相談内容は、対人関係に関する相談、学修困難・修学支援に関する相談、進路変更に関する相談、発達障害に関する相談等、多岐に及んでいる。必要に応じて、学校医や医療機関等の外部の専門機関と連携を取っている。健康診断時にハイリスクと思われた学生は、定期的に声掛けをして様子を確認するなど、積極的に関わりを持ち、休学・退学に至らないよう、各学科の教員と連携して支援している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.hirosakiuhw.jp/disclosure/disclosure_tandai/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。